

ホウ  
方

耕作に用いる“すき”の象形字。

すきは、生活に最も必要な手だてであった。

手だて(方法)例 方途

方角(四方) 例 方位・方面

四角 例 正方形・長方形

## 防

四方を土手(阝)で囲むのは、村や町を外敵に対して？

ふせぐ 例 防壁・防衛

注 中国の都市は四方に防壁をめぐらしている。これが防の本義である。

## 坊

家の四方に土塀をめぐらした建物

寺院

僧の住むところ 例 僧坊・坊舎

僧 例 坊主(もとは坊の主の意)

髪の毛を短く刈った者 例 坊や・赤ん坊

## ボウ 妨

四方を女に囲まれては、仕事が手につかない

さまたげる 例 妨害

## ボウ 紡

四方に糸巻きを置き、それを一本の糸により上げる

つむぐ 例 紡織・紡績・混紡

注 糸をよるのに錘(つむ)という重りおもを使うので“つむぐ”と言う。

## ボウ 肪

肉のまわり(方)の肉は？

あぶら肉(皮下脂肪)

注 脂は“旨うまい肉”といり意味の字。あぶらののった肥えた肉はおいしい。

## ホウ × 彷徨

行く方角を定めずに、四方のどちらでもかまわずに行く

(あっちへ行ったり、そっちへ行ったり)

さまよう 例 彷徨ホウコウ

ぼんやり 例 彷徨フツ

## ホウ 芳

あたり一面(四方)草花におおわれている

かぐわしい 例 芳香・芳草・芳園

美しい 例 芳景・芳心

敬称 例 芳志・芳顔・芳名

ホウ  
訪

あっちへ行き、そっちへ行きしてたずねる(言)

たずねる 例 訪問・歴訪

ホウ  
放

古い形は𠂔で、人と女の会意字

人を追い払う 例 追放

注 音は𠂔が変化してホウ。そのため、人が方と書かれるようになった。

自由に任す 例 放任・放言

わがまま 例 放縦・放漫

問<sup>1</sup> 次の芳の違いを述べよ。

一、芳園 二、芳志 三、芳心

次の放の違いを述べよ。

四、釈放 五、放逐 六、放漫

<sup>1</sup>答 一、かぐわしい花園。 二、あなたのお志。 三、美しい心。 四、自由に任す。 五、追い払う。 六、気まま。